

2025年7月

日本文化政策学会第19回年次研究大会

やむを得ない事情がある研究者のための オンライン研究発表（オンライン分科会）募集要項

日本文化政策学会第19回年次研究大会
プログラム委員長 吉田隆之

学会の研究大会は、学会の活動の中でも最重要な対面での交流の場として機能してきました。本大会でもその考え方は変わりません。しかしながら様々な理由で対面での参加ができない事情を抱えていらっしゃる方々がおられることに、学会としても対応していく必要があると考えています。本大会では、「やむを得ない事情がある研究者のためのオンライン研究発表（オンライン分科会）」を設けます。

やむを得ない事情により、研究大会会場に出向いて対面での研究発表を行うことが困難である研究者に対し、大会分科会会場にオンライン参加して研究発表できる機会を提供します。

1. 名称 日本文化政策学会第19回年次研究大会
「やむを得ない事情がある研究者のためのオンライン研究発表（オンライン分科会）」
2. 主催 日本文化政策学会
3. 日時 2025年12月20日（土）・21日（日）いずれか
4. 場所 オンライン（zoom）
※発表者のみオンライン参加可能です。座長・副座長・聴衆は研究大会会場（奈良県立大学）での対面参加となります。
5. 応募資格
 - ・研究代表者が本学会会員であること。
 - ※非会員で発表を希望される方は、学会HPを参照の上、入会申込と発表申込を並行して行い、発表申込にあたっては入会申込中である旨を書き添え下さい。
 - ・申込時点で会費の未納がないこと。
 - ・申込時に、研究大会当日に会場（奈良県立大学）で対面参加することが困難である、やむを得ない事情があること。

《本募集要項で想定される「やむを得ない事情」の例》

- ・海外にいるが、滞在国の社会状況等のために出国できない（あるいは日本に入国できない）ことが申込時点で見込まれる場合
 - ・自身の障害や慢性的な疾患等のため、会場までの移動に著しい困難がある場合
 - ・育児や介護等のケアの責任を担っており、自宅を離れるのが難しい場合
 - ・その他、プログラム委員会がやむを得ないと判断した場合
- ※個別の事情については、申込時にご記入ください。

《本募集要項ではオンライン研究発表が認められない例》

- ・別のスケジュールとの関係で大会参加の所要時間を短縮したい
- ・自身が感染症等の急性疾患等により療養中である
（学会として、一時療養中の方に発表をお認めできません）
- ・旅費が高額で工面できない（各自で研究助成への応募等をお願い致します）

- ・発表当日に交通機関のトラブルがあり、オンライン研究発表に変更したい
(本募集要項は、申込時点で「やむを得ない事情」がある研究者を対象とします)

6. 注意事項

- ・本募集要項での応募者は「オンライン分科会」で発表します。異なるテーマの発表者が同一の分科会で発表するかたちとなります。
- ・オンライン発表可能なインターネット環境の事前準備は、応募者各自が行います。当日使用するzoomの会議室の設定、大会会場でのオンライン中継の準備は、実行委員会で行います。
- ・研究発表の採否は、プログラム委員会にて決定いたします。
- ・各分科会の座長等は、応募内容を踏まえて決定いたします。
- ・発表時間の個別のご希望については対応できかねます。20日（土）及び21日（日）の両日程を確保の上、お申し込み下さい。
- ・「やむを得ない事情」をはじめとする申込時にご記入いただいた個人情報については、本研究大会の運営のみに使用します。
- ・大会参加費は、対面参加の場合と同額になります。部分参加による減額等はありませんので、ご承知おきください。

7. 発表申込締切 2025年10月1日（水）18時（時間厳守）

8. 採否の通知 2025年10月下旬

9. 予稿原稿締切 2025年12月1日（月）18時予定

※採否通知の際に、予稿執筆要項と確定した締切をお知らせします。

10. 申込方法 下記ウェブフォームにてお申込ください。

オンライン分科会申込フォーム

<https://forms.gle/rqnuqm3SZCUcDRk96>

※URLをクリックしてもアクセスできない場合は、URLをコピーしてブラウザのアドレスバーに貼り付けていただけますよう、お願いいたします。

プログラム委員会事務局
担当：風間勇助、中村まい
E-mail：jacpr2025nara@gmail.com